

ライフコースに応じた健康課題

	古賀市の課題	背景	目標
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ○3歳児の肥満割合の増加 ○小・中学生の肥満割合の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣の乱れ(夜型生活の増加) <ul style="list-style-type: none"> ・朝食欠食割合が小学生以外の「幼児」「中学生」「高校生」で増加 ・TV等視聴時間、ゲーム時間の増加(年代が上がるごとに長くなる) ・TVの視聴時間やゲーム時間長いほど就寝時間が遅く、起床時間が早い ○幼児の約7割が「家の中」で遊んでいる。 	肥満につながる 「生活習慣の改善」
女性	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生、20歳代女性の痩身割合が多い ○平均寿命と健康寿命の差は男性1.21歳に対し女性は2.79歳 ○乳がんの増加 ○2,500g未満の低出生体重児の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ライフステージごとに女性ホルモンが劇的に変化するという特性 ○女性のがん検診(子宮頸、乳)の受診者数は減少傾向 ○令和4年度の妊娠中の飲酒割合は0.2%、喫煙割合は2.5% 	「女性ホルモン」の変化に応じた健康づくりの推進
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ○後期高齢者の1人あたり、医療費は年々増加。国保医療費と比較して、慢性腎不全の割合が高い。 ○要介護認定者の主な原因疾患は認知症 	<ul style="list-style-type: none"> ○後期高齢者健康診査受診率の低迷。 ○60歳以上の8割は、「日頃楽しめる趣味や生きがい」を持っているが、地域活動の参加割合は2~3割と低い。 	○生活習慣病の 重症化予防 ○フレイルにつながる 生活活動の改善